

# まるい通信

第34号 平成24年1月

## 町政報告

町会議員 高阪康彦

☆ご挨拶 明けましておめでとうござい  
す。本年も宜しくお願い申し上げます。

昨年、東日本大震災や台風被害で家族の大  
切さを感じ、支援の輪が広がったことに  
加え女子サッカーのなでしこジャパンの  
チームワークも理由に挙がりました。

絆とは、(離れないよう繋ぎとめる綱の  
意味から)、家族や友人など、人と人を離  
れがたくしている断つことの出来ない結  
びつきを云います。又、絆されるは、ほ  
だされると思ひます。

さて、大震災の衝撃を経験したこと  
により、地域や家族の絆が見直されていま



す。セーフティネットと  
して地域の絆、コミュニティ  
の大切さが再認識され  
ています。安心安全をのた  
めに繋がりを求める意識が  
高まっていると思ひます。

後援会のホームページ <http://www.e-marui.com/>

今では聞かれなくなった、向こう  
三軒両隣の意味を改めて考え直し  
たいものです。



◇12月定例議会は11議  
案全て承認可決されま  
した。主な議案は①暴  
力団排除条例の施行に

伴い、暴力団の蟹江町の公的施設  
の使用が不許可になりました。

②蟹江南保育園の追加工事が認め  
られました(東側敷地境界板柵等)

◇全員協議会では、旧蟹江高校跡  
地について話合われ、町として正

式に取得を県に申し入れる。取得  
費用は5億円を目処とする。活用

については中長期的に考え近鉄富  
吉駅南地区と一体的に町づくりを

進める。短期的には、広域避難場  
所としての活用を考えている。難場

既存建物の活用を考えた。再利用す  
る。との考えが示されました。

※詳しくは後援会のホームページを